



SDP 透明性プロファイルの設定

- [SDP 透明性プロファイルの概要 \(1 ページ\)](#)
- [SDPの透明性プロファイルの制限事項 \(1 ページ\)](#)
- [SDP 透明性プロファイルの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [SDP 透明性プロファイルの設定 \(2 ページ\)](#)

SDP 透明性プロファイルの概要

SDP 透過性プロファイルには、宣言的な SDP 属性の一連のルールが含まれており、これによりシステムは、Unified Communications Manager によってネイティブにサポートされていない宣言的な属性を、入口から出口コール区間に渡すことができます。SDP 透過性プロファイルがないと、Unified Communications Manager は、サポートされていない SDP 属性を削除します。

複数のルールを使用して SDP 透明度プロファイルを設定し、SIP プロファイルを介して SIP デバイスに適用することができます。SDP 透明性プロファイルを適用するには、両方のコールログが SIP である必要があります。次のタイプの SDP 属性ルールを設定できます。

- [プロパティ (Property)] : プロパティ属性にルールが設定されている場合、属性に値がない限り、Unified Communications Manager は SDP 属性を通過します。
- 任意の値 : ルールが任意の値に対して設定されると、値が1つ以上の空白以外の文字で構成されている限り、SDP 属性はパス スルーされます。
- リストからの値 : ルールがこのオプションを使用して設定されると、値が指定された値のいずれかに一致する限り、SDP 属性はパス スルーされます。最大 5 つの候補値を設定できます。

SDPの透明性プロファイルの制限事項

次の制約事項は、SDP 透明性プロファイルに適用されます。これらの状況のいずれかが出力コールログに発生すると、Cisco Unified Communications Manager は宣言型 SDP 属性を通過させません。

- パススルーをサポートしていない、1つ以上のメディアターミネーションポイント (MTPs) またはトラステッドリレー ポイントが割り当てられます
- [メディアターミネーションポイントが必要 (Media Termination Point Required)] チェックボックスを、SIP トランク用にチェックします
- トランスコーダが使用されます
- RSVP が使用されます
- 入力コール レッグでは遅延オファーが使用されている一方、出力コール レッグでは早期オファーが使用されている場合。
- メディアの回線は拒否されました (port=0)
- いずれかのコール レッグが、SIP 以外のプロトコルを使用している場合

SDP 透明性プロファイルの前提条件

サードパーティ製 SIP 製品の導入を計画している場合は、その製品が Session Description Protocol (SDP) を実装している方法を理解していることを確認します。

SDP 透明性プロファイルの設定

カスタマイズされた SDP 透明度プロファイルを、Cisco Unified Communications Manager でネイティブにサポートされていない宣言 SDP 属性のルールセットと組み合わせて設定します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [SDP 透明性プロファイル (SDP Transparency Profile)] を選択します。
 - ステップ 2** [Add New] をクリックします。
 - ステップ 3** [名前 (Name)] と [説明 (Description)] に入力します。
 - ステップ 4** [属性情報 (Attribute Information)] ペインで、パススルーする SDP 属性のルールを作成します。
 - プロパティ属性を渡すには、[名前 (Name)] テキストボックスに a=recvonly などの属性を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンリストから [プロパティ (Property)] を選択します。
 - 値属性をパススルーするには、[名前 (Name)] テキストボックスに属性 (たとえば a=rtpmap) を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンリストボックスから [値 (Any Value)] を選択します。
 - 値属性を最大 5 つの値のいずれかで渡すには、a=rtpmap などの属性を [名前 (Name)] フィールドに入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンリストから [任意の値 (Any

Value)] を選択します。結果の [値 (Value)] テキスト ボックスに、属性の値を入力します。[+] をクリックして、この属性に最大 5 つの値を追加できます。

ステップ 5 この透明性プロファイルの追加 SDP 属性を入力できる新しい行を作成するために[(+)] をクリックします。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

(注) SIP プロファイルを使用するデバイスが SDP 透過性プロファイルを使用するには、このプロファイルが SIP プロファイルに適用する必要があります。
